

美 自分力発揮

美しさはココロとカラダのバランスです。

20から40代の女性に発症が増え、注目されている子宮頸がん。早い段階で治療すれば治る可能性が高くなりますが、早期発見ができるのは検診だけです。京都新聞では、子宮頸がんを予防するために「京都新聞子宮頸がん予防啓発キャンペーン『美 自分力発揮』」を展開しています。がんから自分を守り、健康に輝いて生きるため、ぜひとも子宮頸がん検診を受診しましょう。



主催/京都新聞
後援/京都府、京都市、京都商工会議所、京都府商工会議所連合会、京都府医師会、京都産婦人科医会、京都府看護協会

美 自分力発揮サイトはこちら [自分力発揮 検索](http://www.kyoto-np.co.jp/kp/kyo_np/info/jibunryoku3/)
http://www.kyoto-np.co.jp/kp/kyo_np/info/jibunryoku3/

検診でしか発見できない子宮頸がん

20歳を過ぎたら2年に一度は受診しよう



京都市産婦人科医会 理事
柏木智博さん
は自覚症状がまったくないため、発見できる方法は検診しかありません。言い換えれば、定期的な受診すれば、がんを予防できるのです。

ホームドクターを決め補助制度を活用

京都市では、20歳以上の女性は2年に一度千円で子宮頸がん検診を受診できる補助制度(注2)があります。さらに新たに子宮頸がん検診の対象となる20歳の方などに検診が無料で受けられるクーポン券を送付しています。

女性特有の心配を解消

子宮頸がん検診は自治体の集団検診や、京都市の子宮がん検診指定医療機関に認定されている医院・病院で受けられます。検査は、小さく柔らかいブラシで子宮頸部の粘膜をこすり取るだけ。2から3分であっという間に終了しますが、ほぼ確実にがん細胞の有無を確認できます。検査結果は数週間で出てきます。「がんになるかも」という状態で発見できるので、早期治療で完治する可能性が高まるのです。

自覚症状がなく進行

子宮頸がんになる原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)と分かっています。HPVはどこにでもいるウイルスですが、これが子宮頸部へ感染して時間がたつと、子宮頸がんへ進行することがあります。性経験がある女性の約8割が一度はHPVに感染するといわれていますが、通常は免疫力によって体外へ排せつされます。しかし10人に1人ぐらゐの確率でHPVが子宮頸部にとどまり、数年から10年ほどで、がんになるのです。

このように簡単な検査ですが、京都市における受診率はわずか19.2%、全国で40位(注1)という低さです。自覚症状がなく、検診だけ受診するとなると婦人科には行きにくいかもしれませんが、医療機関で受診した場合、たいていエコー検査も同時に行います。卵巣の腫れや筋腫などが見つかるともありません。多角的に健やかな生活のサポートをしてもらえます。婦人科のホームドクターを決め、定期的にかかるようにすれば、安心して安心です。

女性特有のがんにはもう一つ、乳がんがあります。乳がんは自分で発見できる唯一のがんです。日ごろから自主的に視触診して変化に気を付けましょう。また、自治体の集団検診、指定医療機関のエコー検査やマンモグラフィなら、より確実に発見できます。京都市には乳がんにも30歳以上(医療機関での受診は40歳以上)の女性は2年に一度1300円で受診できる補助制度(注3)があるので、子宮頸がんと併せて受診しましょう。そして、各自治体による補助制度を上手に利用して検査を受けましょう。

他のがんは高齢になるほど罹患率が高くなりますが、子宮頸がんは若い世代の女性に増加しています。これは性経験の低年齢化が影響していると思われるからです。がんが進行すると性交時や月経時以外に出血したり、濃い色のおりものが増えたり、下腹部や腰に痛みが出ますが、初期段階では自覚症状がありません。症状が現れる段階では、かなり深刻な状態となっており、死亡率が上がります。大きな手術も必要となります。そのため、子宮頸がんから身を守るためには、HPVに感染してもまだがん化していない、前がん状態で発見するのが最も有効です。初期

このように簡単な検査ですが、京都市における受診率はわずか19.2%、全国で40位(注1)という低さです。自覚症状がなく、検診だけ受診するとなると婦人科には行きにくいかもしれませんが、医療機関で受診した場合、たいていエコー検査も同時に行います。卵巣の腫れや筋腫などが見つかるともありません。多角的に健やかな生活のサポートをしてもらえます。婦人科のホームドクターを決め、定期的にかかるようにすれば、安心して安心です。

ステキ女子のからだメンテプロジェクト
京都府子宮頸がん検診啓発キャンペーン

わたしは大丈夫。そう思っていますか?
20歳を過ぎたら子宮頸がん検診へ行きましょう。
短時間の検査で未来が変わります。

がん検診のお申し込みはお住まいの市町村へ
京都府 健康対策課 (☎075-414-4739)
京都府では、「子宮頸がん検診啓発キャンペーン」を実施し、検診受診を呼び掛けている。

(注1)平成24年度厚生労働省地域保健・健康増進事業報告 (注2・3)詳細は京都市がん検診のホームページを参照(「京都市がん検診」と検索)